



ROTARY BRINGS HOPE

ロータリーは 希望をもたらす



国際ロータリー会長 M. A. T. カパラス 第256地区ガバナー 藤田 説量 (三条)

会長 — 日戸 平太 幹事 — 上木 六治 SAA — 外山 雅也

例会日 毎週水曜日 12:30

例会場 三条市旭町2-5-10 三条信用金庫本店内 (TEL 34-3311)

事務局 三条市旭町2-5-10 (TEL 35-3477)



出席率: 会員 65名中 35名 : 先々週出席率: 92.31% (前年同期 85.29%)

今日のお花: 菊、しもつけ草

ヴィジター: 加茂より 監沢文二君

三条北より 落合益夫君、本間建雄美君

ゲスト: JR東日本旅客鉄道新潟支局 山口信治殿

先週のメイクアップ: 6/14 津南10周年へ 日戸平太君、上木六治君

6/14 次年度分区代理会議 新潟へ 吉井俊介君

6/15 三条南へ 渡辺惣吉君、野村竹三郎君、小林九満太君、
五十嵐総一君、岩井和夫君、中條耕二君、
鈴木宗資君、五十嵐晋三君

6/16 三条北へ 山本福七君、古沢富雄君、箱崎源伸君、
小林九満太君、大谷幸平君

会長挨拶: 日戸会長

「あ、外人が来た」は、エミーの口からの言葉であります。みると、たしかに、当市にいる外人バイヤーのひとりでありました。この発言は、彼女が見物人、旅行者、あるいは単に寄留者としてではなく、この10ヶ月を、当市に過ごしたことを示しております。

「私、9日ではなく、9ヶ月も日本にいる。あんな質問はおかしい。」これは、エミーの上手な著使いについての、質問に対する解答。まことにごもっともであります。

「二流校の方が面白い。いろいろな質問が出る。」「受験校の生徒、行儀良過ぎる、質問少

ない。」「しかし、難しい事言う、かっこいい男も居る、楽しかった。」等など、高校生とやりとりが出来るとなりましたが、これは本人の努力に加えてホームステイの家族の方々、国際委員会、東校の先生、生徒方々の大きな支援によるものであります

さらに、第五のステーションともいべき、鈴木宗資さんのお宅で、毎週お茶のお稽古をして頂きました。この茶の湯（日本の文化、心を含むもの）が、彼女をして、「外人」と言わしめた、大きな要因の一つでありましょう。

彼女の剣道は、初段免許とはいきませんでした。ペンは、剣よりも強しと申します。茶匙は竹刀より強く、彼女には魅力的だったのでありましょう。

ともあれ、会員皆様と共に、一人の人間の成長にプラスになる一つの事業に参加し得たものと信じております。共に喜びたいと思います。エミー・ウェルマン嬢は、7月1日に日本を離れますので、後でご挨拶があります。

幹事報告： 上木幹事

- ・ IGF 役員依頼状、IGF 共通テーマ及び役員一覧表
- ・ 新発田 RC 30周年、新発田城南20周年 ご出席御礼
- ・ 地区大会予備登録

ニコニコBOX ￥7,000



- 平原(二)君 先日福島の飯坂温泉で戦友会が有り、46年振りで多数の方々と逢って参りましたので。
- 野水君 渡辺喜彦さんの入会を祝して。
- 小林(英)君 新会員渡辺喜彦君を歓迎します。
- 藤田(紘)君 新会員入会を祝して!!
- 平原(信)君 丸惣運送の社長の渡辺喜彦さんの入会を歓迎して。
- 榎本君 エミーさんが帰国されると聞きました。短い間でしたが、日本のよい思い出を胸に、元気で過ごして下さい。

新会員紹介： 渡辺喜彦君



生年月日 昭和19年10月18日生
 家族構成 父 喜一郎(大 8. 12. 5 生) 丸惣運送会長
 母 スズ(大 6. 11. 17 生)
 妻 洋子(昭19. 3. 11 生)
 長男 雅之(昭44. 2. 18 生) 大学1年生
 長女 裕子(昭49. 9. 22 生) 中学1年生
 あと、犬1匹、ヒヨコ3羽

- 経歴
1. 加茂市に生まれる。満5歳まで加茂で育つ。
 2. 一ノ木戸小学校から第二中学校へ。
 3. 第二中学校から三条高校へ。
 4. 昭和38年3月 三条高校卒業。
 5. 三条高校から新潟の職業訓練所自動車整備学科へ。
 6. 自動車整備士試験合格、新潟プリンス自動車入社。
 7. 昼プリンスで仕事をし、そのお金で夜間新潟短期大学へ通う。
 8. 昭和41年4月 丸惣運送へ入社。
 昭和48年6月 代表取締役専務に。
 昭和60年6月 社長に就任現在に至る。

趣味 一応なんでもやります。
 特に、歴史が好きで、古いものを見てあるのが好きです。城や神社、仏閣など。
 あと、ゴルフや釣など、学生時代は剣道をやりました。

□ターリの speech



エミー・ウェルマンさん

こんにちは。私は7月1日にアメリカへかえります。私は「ねんかん」いろいろ日本のことを「へんぎょう」しました。私は「さいしょ」日本語をあまりはなせませんでしたので、李さんの「かどく」はとても「たいへん」だったとおもいます。あの「かどく」は「すいぶん」かまんしたとおもいます。私は「さいしょ」いろいろ日本の「せいかつ」に「ごまかして」たぶん「日本人」は「うち」にはいるとき、いつも「くつ」を「ぬぎます」。それは「ほんと」にごまかして、でも、

「たんたん」日本の「せいかつ」に「なりました」。「Sanjo Higashi」こうこうは「ほんと」に「たのしかった」です。私は「あの」が「こう」の「せんせい」と「せいじ」から「いろいろ」で「つたって」ました。が「こう」で「な」し「うが」く「り」こうや「ぶん」が「たい」な「たの」しかった「です」。が「こう」で「た」くさん「とも」ちが「できました」。

私の「なうしん」は4月に日本へ「きました」。私たちは「た」くさん「日本の」すは「らしい」ことを「みました」。私は「京都」が「一はん」すば「らしい」かと「おもいます」。私の「はは」には「高山」が「一はん」おもしろ「かった」と「おもいました」。私たちは「高山」で「た」くさん「日本の」むかし「の」ものを「みました」。高山は「とても」おもしろ「かった」です。私たちは「李」の「大仏」を「み」に「いきました」。あれは「おもった」より「おおき」かったです。で、「びっくり」しました。私の「ちち」は「李」の「大仏」が「すいぶん」「うは」た「とおもった」そうです。

日本の「ねんかん」は「とても」よ「かった」です。私は「ほんと」に「いろいろ」日本の「こと」や「日本語」を「おぼえ」ました。「Homestay」の「かどく」の「み」さん、李さんと「川又」と「いからし」と「田戸」さんに「ほんと」に「いつも」お「せわ」に「な」って「おりました」。私は「三じょう」ロータリー「クラブ」から「た」くさん「いた」だ「ました」ので、

ほんとに「どうも」ありがとう「ござい」ました。かえって「から」私は「日本の」ねんかんの「けいけん」を「わすれ」ません。私は「こんど」また「日本」に「き」つ「たい」とおもいます。三じょう「ロータリー」クラブ「の」みさん「ほんと」に「どうも」ありがとう「ござい」ました。